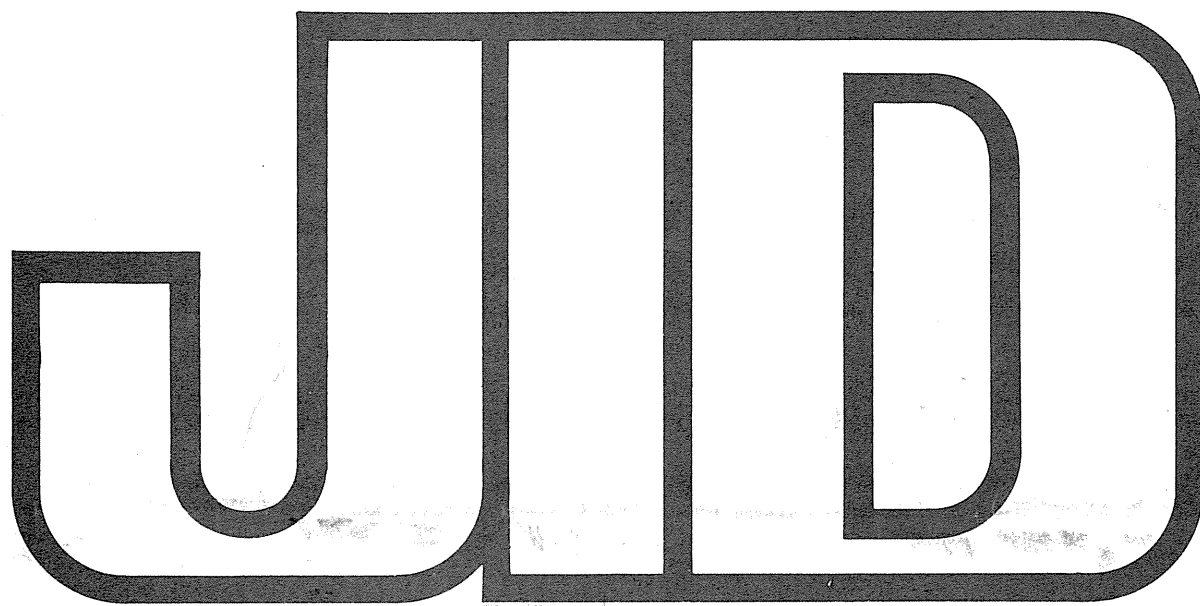




APRIL 1978

社団法人 日本インテリアデザイナー協会機関誌

● 1977年度協会賞選考報告	2
● 公聴会（会費値上げ）	2
● インテリア産業協議会加入きまる	2
● 『ブルーノ・マットソン氏とスティウレ・エング氏を囲む会』レポート	3
● IFI 総会出席きまる	4
● 理事・山口勇次郎氏藍綬褒賞を受賞	4
● 臨時総会開かれる	4
● 52・臨時理事会議事録	5
● “ ”	6
● 会員の移動・新入会員紹介・会員の消息	6
● 寄贈・購入図書	8
● 事務局短信	8

創立20周年記念事業を成功させよう

● 1977年度協会賞選考報告

選考委員長 狩野雄一

1977年度の協会賞はさきに会員の選挙によって選ばれた選考委員10名（白石勝彦，長大作，渡辺力，渡辺優，中村圭介，三輪正弘，狩野雄一，泉修二，山口勇次郎，榎田均）で行われることとなりました。

第一次審査は3月10日委員会にさき立ち委員長は委員の互選の結果，狩野雄一が委員長となり，17名の候補者の中から慎重に選考した結果6名を選び，更に4月7日の第二次審査会に於ては賞の趣旨や作品の内容などについて選考委員のお互の論議を重ねた結果最終的に次の三名を1977年度協会賞に推薦した。

- ① 故水之江忠臣（水之江インテリヤ・デザイン研究所） 業績「イスを中心とした永年のデザイン活動と作品」
- ② 垂見健三（垂見健三デザイン事務所） 作品「合板家具の開発と展開」
- ③ 西邨正貢（西邨正貢デザイン研究所） 作品「ガラス板による展示器具のデザイン」
ニシムラマサツグ

● 公聴会（会費値上げ）

3月27日，臨時総会終了後会費値上げの公聴会が開かれました。会員21人の出席が得られ，活潑な意見が出されました。

先ず，中村（圭）特別財政委員から，会費改定の必要性のデータとして，財政状況報告があり，次いで白石理事長から値上げ（案）決定までの経緯の説明がありました。（機関誌№81-D参照）

事務局から細かいデータの補足説明があった後，質疑応答，フリーディスカッションが行われました。基本事業費と収益事業のバランス是正，会報と会費，会の職能性，地方会員と企業内会員に対する会のメリット，等々会費改定と合せて広範な面からの発言がありました。総じてアンケートの内容同様，会費と会活動への関心が高く，公聴会での意見を十分上部組織でそしやくするということを確認して散会しました。

（司会：尾上，書記：山品）

● インテリア産業協議会加入きまる

4月5日の理事会で，インテリア産業協議会への加入が正式決定されました。同会の内容と今後の活動方向を簡単に紹介します。これからの協会活動にもぜひ反映したいものです。

同会は，インテリア産業の健全な発展と国民生活の向上を目的として昭和52年秋に設立されました。

事業としては次のことがらが考えられています。

- 1) インテリア産業の需要予測（マクロ調査の資料収集と分析。ミクロ調査の方法論の確立による需要予測）
- 2) トータルインテリアの基本パターンの研究（販売のツールとして，また，一般需要者の啓蒙用，施工店，小売店の教育用として）

3) 情報, 資料の収集, 抽出, 頒布および公表(内外, 特に海外情報, 資料の収集, 抽出, 頒布, 研修会など)

4) トータルインテリアショウの開催

5) インテリアに関する啓蒙及び普及

現在, 会員には関連団体, 企業として60ほど(内訳: 壁装関係12, ファブリックス関係12, 家具関係18, 照明関係10, その他8)あります。

同会の事業推進のために3つの委員会が設置されています。当協会からもこの委員会に参加する方々の出現が待たれます。また, 各種研修会, インテリアショウに積極的に取組んで行くことになると思います。事務局は下記の通りですが, 更に詳しい情報をご希望の会員は事務局までご連絡下さい。(事務局)

インテリア産業協会 東京都港区虎の門1丁目23番7号 ((財)住宅産業情報サービス内) TEL 502-8541

● 「ブルーノ・マットソン氏とスティウレ・エング氏を囲む会」

先に御案内しました関東事業支部委員会の企画・実行で, 「両氏を囲む会」が開かれました。場所は足の便のよい地下鉄新宿御苑駅前の壁装館でした。

朝からの雨が心配されましたが, 夕刻前には幸運にも止んでくれました。以下, 参加できなかった会員諸兄の為に簡単なレポートをお届けしましょう。

テーマ 「スウェーデン・日本 インテリア市場討論会」

講師 : ブルーノ・マットソン氏およびスティウレ・エング氏

パネリスト : 榎田 均, 長岡貞夫, 大野美代子, 木村戦太郎(以上いずれも正会員)

司 会 : 川上信二(正会員)

1) 日本人の生活・住宅事情を, 両氏は自分のデザインプロジェクトにどう捉えたか。

- ・歴史, 風土, 床式生活の違いを認識する —— マットソン氏
- ・体形については8%のスケールダウンを行った —— エング氏

2) 家具の品質

- ・スウェーデン家具の品質はメーカー, ユーザーの2ウェイで維持されている。特に買手の認識の高さが大きい。

3) デザイナーの立場・メーカーとの関係

- ・不況の時代こそデザイナーは自分の哲学を持つべきだ。特に若いデザイナーは挫けてはいけない。

4) 家具に取組むデザイナーの姿勢

- ・スケッチが出来ると工房でフルサイズモデルを, 自分で作る。—— エング氏
- ・市場調査・販売にもタッチする。—— エング氏
- ・製品化の後が大切。—— マットソン氏
- ・経験は最大の教師。—— マットソン氏

以上, 支部委員でパネリストを買って出た木村戦太郎正会員のレポートから要約しました。討論会は6:30から9:00まで, 終始なごやかな雰囲気の中にも活潑な意見の交換が行われ, 有意義な一タでした。参加者は会員, 一般半々の約60名でした。報道関係も4社の入場がありました。壁装館の原田社長, 吉田マネージャーのご好意も記さな

ければなりません。また、この企画は会員川上信二、玲子両氏のご尽力により実現したものです。

詳しくは次号「インテリアデザイン」をごらん下さい。（事務局）

● I F I 総会出席きまる

既報（機関紙80-B, 81-D）のようにI・F・I（International Federation of Interior designers・国際インテリアデザイナー団体協議会）の総会に出席するメンバーが4月5日の理事会で決定されました。

白石勝彦氏（理事長）

川上玲子氏（正会員）

尚、川上（玲）氏は53年度から理事として渉外委員長に予定されています。

2人は国際会議出席の主目的で編成される1978年米国インテリアデザイン視察団の一行と、5月12日に日本を立ち、同28日に帰国する予定です。創立20周年に当るJIDの加盟承認を初め、JID協会賞の紹介など多大の成果を期待したいところです。

● 山口勇次郎氏藍綬褒賞を受賞

かねてより期待されていた山口氏の藍綬褒賞が正式に決定されました。このことについては4月29日付で、内閣より発令された旨4月30日官報に発表されました。

このことは予想されたこととはいえ、永年の同氏の御功績が公けに認められたもので、同慶に堪えません。当協会は無言、関係業界にとっても大変名誉なことです。これからの同氏のご活躍とご健康を会員よりも望みたいところです。

これで、今までの正会員の叙勲、褒賞を受けた方々は6名になりました。（故剣持勇氏、豊口克平氏、依田勇夫氏、佐々木達三氏、渡辺力氏）

● 臨時総会開かれる

昭和53年3月27日午後1時30分から、場所は永田町の社会文化会館大会議室で開かれた。出席者24名、委任状156名で会は成立した。

去る11月実施した新年度の役員選任についての承認をはかったところ、総会は異議なくこれを承認した。

この後理事会が開かれ、新理事長に白石勝彦、副理事長に中村圭介の両氏が選任され、総会に報告された。尚、新理事の正式就任は5月31日の通常総会後になる。

— お 知 ら せ —

第5回東京国際グッドリビングショウ

4月26日オープン 5月5日まで

会 場 東 京 晴 海

● 52・臨時理事会議事録

日 時 昭和53年3月27日(月) 12:00 ~ 1:00

場 所 社会文化会館 会議室

出席者 名誉会員 豊口克平, 岩瀬要三

理事長 白石勝彦 副理事長 渡辺 優

理 事 中村圭介, 川崎 治, 尾上孝一, 島崎 信, 垂見健三, 富田卓司, 山口勇次郎

(委任状) 榎田 均, 坂本康四, 岡村 実, 狩野雄一, 長 大 作, 松本政雄

監事(委任状) 渡辺 力, 樋口 治, 事務局長 工藤広忠

はじめに副理事長より議事についての説明があり、理事会は進められた。

1. 報 告 事 項

- 1) 会費の納入状況は平年に比較してよい。
- 2) 会報の発行が延びた為、この費用の支払いが来年度になった。この為、会計上事なきを得た。
- 3) 理事山口勇次郎氏の藍綬褒賞の内示というおめでたがあった。4月末公示の予定。

(以上、事務局長よりの報告)

2. 事務局人事について (工藤氏、一時退場)

中村理事より退職に際しての取扱い、本人の意向その他について説明があった。名誉会員(その中の特別会員)に推すこと、総会に於てその貢献を表し感謝状を呈することが決定された。

また、中村理事別紙内容による嘱託業務の内(2)(3)項、また同上の業務報酬等については、新理事会での検討事項となった。その他は原案通り承認された。

3. そ の 他

- 1) 総会人事についての(案)が審議された。
- 2) 公聴会(会費改定)の内容を十分吸い上げることが了承された。
- 3) 理事松本政雄氏が入院加療中の旨、中村理事から報告あり。理事有志にて拠金して、中村理事がお見舞いに行くことが話し合われた。

4. 協賛事業について

最近、協賛事業について事後承認を求める例がある。協会各員がコーディネートする時は協賛する方向で検討する前例なので、必ず事前に理事会乃至持廻り理事打合会の同意を得るようにしたい旨提案あり、諒承された。

5. 退 会 事 項

正会員1名、準会員2名、賛助会員1の退会届が承認された。次回理事会は4月5日・建築家会館会議室の予定。

尚、当日行われた公聴会の後で、白石理事長の他、渡辺優、尾上、川崎、垂見、富田、長岡、森谷(順不同)が集まり次のことが話し合われた。

- 1) 20周年事業と平常事業とは別の組織にして会運営の活性化を計ること。
- 2) 理事が各委員長を兼任することについても弾力的に捉えること。
- 3) 会員の生の意見を吸い上げるためのJID懇話会などの機会を効率的に捉えること。
- 4) 組織への提案を理事会で議題にして行くこと。

以 上

● 52.臨時理事会議事録

日 時 昭和53年4月5日(水) 1:30 ~ 4:00

場 所 建築家会館 2F会議室

出席者 名譽理事 岩 瀬 要 三

理 事 長 白 石 勝 彦 副理事長 渡 辺 優

理 事 中村, 富田, 尾上, 樋口, 垂見

委 任 状 松本, 川崎, 坂本

新理事予定者 泉, 三宅, 森谷

はじめに中村理事より議事についての説明があり, 理事会は進められた。

1. 議 事

1) I・F・I・総会派遣人事

① 総会出席の上, 加盟承認には代議員2名の出席が必要となる。協会として理事長白石勝彦, 渉外担当川上玲子の両氏の派遣を決定議決された。直ちに準備に入ることになった。

② 総会出席に関して, I・F・I・事務局よりの質問状への回答は事務局でまとめることとなった。

2) インテリア産業協議会入会

今までトータルインテリアショウ・セミナー等協賛事業で関係があり, かねてから入会が望まれていたインテリア産業協議会へ正式に参加することが了承された。本年は20周年記念事業との関連もあり, 有機的連繋が期待されよう。

3) 新年度事業計画

例年通り, 新年度事業計画(案)を事務局提示のスケジュールで各担当がまとめることになった。事業運営の為の委員会組織と20周年記念事業各グループ組織の再確認を行った。特に各事業支部組織についてはそれぞれの地域の実状に合せて弾力的に運営できることで了承された。

4) 雑 件

① 「マットソン氏とエング氏を囲む会」(関東事業支部委員会)が4月12日に開かれる。これの準備と見通しの中間報告。

② 新・旧事務局長の辞令が交付された。

③ 次年度会員名簿についての提案が中村理事より出る。具体案にして, 事務局でコスト等を調べることになった。

④ デザイン報酬規定の内容改定の意見が会員からあり, 審議は続行することになった。 (以 上)

● 会 員 移 動

岸 本 裕 次	自 宅	〒617	京都府長岡京市友岡4丁目10-61	(075)922-9115
種 田 亜 男	勤務先	〒060	札幌市中央区北2条西3丁目1-8 朝日生命札幌ビル	(011)261-2211
	自 宅	〒065	札幌市東区北23条東20丁目354-443	(011)781-6586
三 上 泰 伸	自 宅	〒614	京都府八幡市男山指月8-2	
栃 谷 賢 一	自 宅	〒910	福井市新田塚1丁目72-3	
坂 田 守 正	所在地	〒910 -37	福井市三十八社町701 杉の木台2号-301 インテリアデザインスタジオ・ビネン	(0776)38-2488
橋 本 勉 二	自 宅	〒933	富山県高岡市泉ガ丘4-334	(0766)21-7351
住 江 織 物(株)	担当者		販売促進課長 益 田 達 男	
神 本 妙 子	自 宅	〒167	東京都杉並区桃井2-8-16 新田マンション203号	(03)390-9328

● 新入会員の紹介

1. 正 会 員

会員 No	氏 名	生 年	最終学歴	勤務先	住 所	1. 勤 務 先 2. 自 宅	推 薦 者
435	武 藤 豊 彦	S22・6	聖橋高校 機 械 科 S40卒	フリー	1.港区南青山1-23-10 吉田ビル3F 〒107 Ⅱ(03)470-6436 2.北区上十条3-11-1 三陽マンション501号 〒114 Ⅱ(03)906-6796		中 村 圭 介 白 石 勝 彦

2. 賛 助 会 員

すずらん工業株式会社 代表取締役 板 垣 周 一 紹介者 白 石 勝 彦
愛知県蒲郡市大塚町字丸山14の1 担 当 者
〒443 (05337)2-3191 取締役製造部長 西 村 克 之

● 会 員 の 消 息

松 本 政 雄

かねて国立医療センターに入院中の松本政雄氏(理事・中部事業支部)は、このほど退院し、しばらく御親戚から通院されることになりました。

松本氏は型而工房(昭和3年設立)以来、デザイン活動に参加され、本会中部支部を結成された方。そこで、理事会としてお見舞することになり3月31日、中村理事が代表してお見舞にあがりましたが、中部支部の来年度事業について色々御提案をいただきました。

病名はチョッピリオ年を取られておきる病気で心配なく、近く完治し帰名される予定です。

上 辻 謹 一

陽春のうららかな季節、会員の皆様いかがですか。

さて、私、永年勤務しておりました阪急百貨店を退職して、インテリアデザイン事務所を開くことになりました。40余年の阪急時代のご指導とご支援ほんとうにありがとうございました。今後ともよろしく願い申し上げます。

(自宅ならびに事務所)〒661 尼ヶ崎市武庫之荘1丁目4の12 電話 06-436-0241

狩 野 雄 一

目に青葉、ひかりまばゆい季節になりました。

昭和23年4月創設の千葉大学工業短期大学部木材工芸科に奉職し、本年4月1日付で無事停年退官いたしました。願ひますと、20年間の激動の中、大過なく仕事に打込むことができましたことを有難く感じている昨今です。今後ともデザイン界、産業界に献身してまいる所存です。皆様の御厚誼をお願いいたします。

● 寄贈・購入図書（・印寄贈者）

編 著 者	資 料 名	発行年月	発 行 所
	DESIGNED IN SWEDEN	1 9 7 7	・スウェーデン大使館
	DESIGNED IN FINLAND 1978	1 9 7 7	
	住生活関連品需要動向調査報告書 （住宅産業シリーズ№127）	S53・3	・（財）住宅産業情報サービス

● 事務局短信

1) お 願 い

4月の事務局は新旧事務局長の事務引継が、事業年度の境目と重なり繁忙を、きわめています。

会費の納入も会員諸兄の積極的なご協力で順調です。最近、振込の際、企業名だけで、個人名の記載のないものが多くなりました。以前にもお願いしましたように、企業名 — 個人名の連記をお願いいたします。2人以上の会員がおられる企業が多くなりましたので。

2) 今年の総会は5月31日（水）に決まりました。5月中旬頃、案内状発送の予定です。

3) 会費納入については、今年は公聴会など、会費改定額が未決です。とりあえず従来通りの会費をお願いしています。

4) 事務局 山 品 元 — 地方の皆様から新緑のニュースが入るこのごろです。

分 部 貴 子 — 冬の間の運動不足を取りかえすためマラソンをしています。

池 田 則 子 — 神宮の森から応援歌が時々聞えてきます。

たまにはお出かけ下さい。

機関紙 J I D No.81-E
発行人 白 石 勝 彦
編集人 J I D総務委員会・事務局
発行所 社団法人 日本インテリアデザイナー協会
住 所 〒150 東京都渋谷区神宮前2-3-16
建築家会館3階
電 話 (03) 403-3649
発行日 昭和53年5月1日
印刷所 広洋印刷株式会社
定 価 100円
振 替 東京8-76389